社会福祉法人　登米市社会福祉協議会

福祉学習プログラム

福祉学習のねらい

すべての人々がこの社会の中で誇りをもって心豊かで幸せな生活を送ることができるようにすることが、地域福祉のめざすものです。

本会では、共に支え合い、誰もが安心して暮らせる町づくりを目指し、事業を推進しております。

この『福祉学習プログラム』は発達段階に応じた体験で、「気づき」「考え」「自ら行動に移すことができる」内容が盛り込まれています。

未来の担い手である児童・生徒が、地域社会の一員としての自覚を持ち、自発的・主体的に福祉に関わる実践力を育むものです。

学習までの流れ

① 体験申込み

【福祉学習プログラム職員派遣依頼書にて、**１カ月前まで**にお申込み下さい】

② 日程を調整し、ご連絡いたします

③ 打合せ（担当の先生と１～２回行います）

【資材の搬入出など、ご協力いいただくこともあります】

④ 学習日当日

申込み・問合せ先【町域の支所へお問い合わせください】

支所名	住　所	電　話	ＦＡＸ
迫 支 所	迫町北方字大洞 45-3	0220-22-3537	0220-22-2966
登米支所	登米町寺池金谷 12-1	0220-52-4889	0220-23-9377
東和支所	東和町米川字六反 55-1	0220-45-2139	0220-53-4555
中田支所	中田町上沼字西桜場 18	0220-34-2030	0220-34-2526
豊里支所	豊里町新田町 50-2	0225-79-1135	0225-79-1136
米山支所	米山町西野字古舘廻 8	0220-55-2644	0220-55-5612
石越支所	石越町南郷字新石沢前 47-3	0228-34-2501	0228-34-3970
南方支所	南方町新高石浦 130	0220-58-5303	0220-58-5304
津山支所	津山町柳津字黄牛田高畑 36-5	0225-68-2161	0225-68-2180

福祉学習プログラム

気づき・福祉の仕事を知る					
区分	ねらい(テーマ)	内容	対象	時間	講師例
講話	高齢者のからだや心の変化、特徴について知る	○高齢者の特徴について ・からだ、こころ、目の見え方、耳の聞こえ方等	小学校 高学年～	15 分	社協職員
	介護・障がい事業所の仕事内容について知る	○介護・障がい事業所の仕事内容について	小学校 高学年～	20 分	社協職員
見学	介護施設・事業所の見学や利用者との交流を図る	○介護、障がい事業所について ・特別養護老人ホーム風の路（石越） ・認知症高齢者グループホームほほえみ（石越） ・デイサービスセンター（中田、米山、石越） ・障がい者福祉作業所（南方あやめ園、豊里工房なかま） ・障がい者グループホームカーサにしき（迫）	要相談	要相談	社協職員

福祉学習プログラム

キャップハンディ体験					
区分	ねらい（テーマ）	内容	対象	時間	講師例
聴覚障がい体験	聴覚障がいの正しい理解と、コミュニケーション方法を学ぶ	○手話体験（手話・口話・ｼﾞｪｽﾁｬｰ等いろいろなｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ方法）	小学校１年生～	要相談	聴覚障害者 手話通訳相談員
障がい者ｽﾎﾟｰﾂ体験	障がいがあっても楽しめるスポーツをとおして、相手の立場に立って考える	○卓球バレー ○ボッチャ ○ブラインドサッカー	小学校１年生～	要相談	障害者スポーツ指導者 社協職員
視覚障がい体験	視覚障がいの正しい理解、介助体験	○白杖体験・アイマスク体験 ○点字（仕組み、実技） ○バリアフリーとユニバーサルデザインについて	小学校３年生～	要相談	視覚障害者 社協職員
下肢障がい体験	福祉用具の正しい使い方、介助体験	○車イスを使って生活されている方の話を聞く ○福祉用具の使い方 （車いす・つえ） ○車いす体験	小学校３年生～	要相談	車いす利用者 社協職員
シニア体験	年をとることによる心体の変化、介助体験	○高齢者疑似体験 ○認知症講座（自分の出来る範囲で手助けする方法を学ぶ）	小学校３年生～	要相談	社協職員 包括支援センター

福祉学習プログラム

防災					
区分	ねらい（テーマ）	内容	対象	時間	講師例
基礎 （知る）	災害発生時、自分の命を守る方法について学ぶ	○災害時の心得 ○非常時持出袋ってなに ○防災クイズ・豆知識 ○防災かるた ○身近なもので手作り防災グッズ	小学校 低学年～	要相談	社協職員 千川原 公彦 氏
応用 （考える・体験する）	災害時発生時、自分にできることについて学ぶ	○災害ボランティアセンターとは ○防災マップ作り ○避難所運営ゲーム（ＨＵＧ） ○防災クロスロードゲーム ○サバ飯体験※ （材料等は学校負担となります）	小学校 高学年～		

※「サバ飯（＝サバイバル飯）」とは、大きな災害が発生して、ライフラインが途絶えたときに、家庭にある食材を活用して生き抜いていくための食事です。

福祉学習外部講師紹介

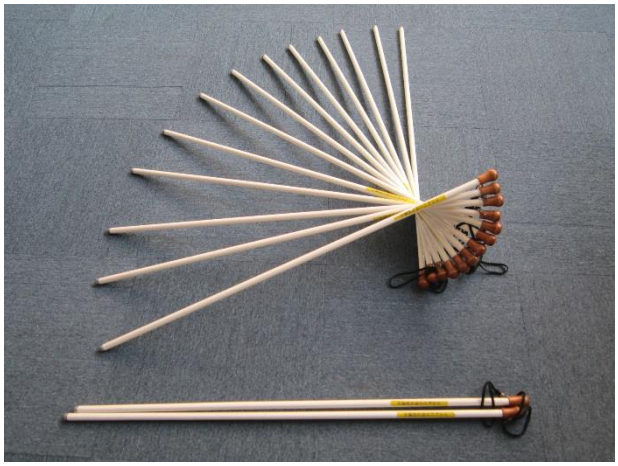
指導内容	団体	講師	講師料（目安）
視覚障害 盲導犬	日本盲導犬協会仙台訓練センター （TEL：022-226-3910）	（仙台市）	10,000 円～ 30,000 円
視覚障害	宮城県視覚障害者情報センター （TEL：022-234-4047）	（仙台市）	要相談
ｷｬｯﾌﾟﾊﾝﾃﾞｨ	宮城県障害者福祉センター （TEL：022-291-1585）	（仙台市）	要相談
聴覚障害 手話	登米市福祉事務所 生活福祉課 （TEL：0220-58-5552）	手話通訳相談員 （登米市）	―
聴覚障害 手話		鈴木 文彦 （登米市）	要相談
認知症講座	地域包括支援センター	（登米市）	―
ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ	とめレクリエーション協会	（登米市）	5,000 円
福祉の仕事	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会 宮城県福祉人材センター	（宮城県）	―

※上記以外にも多くの講師がおりますので、講師派遣につきましては、ご相談ください。

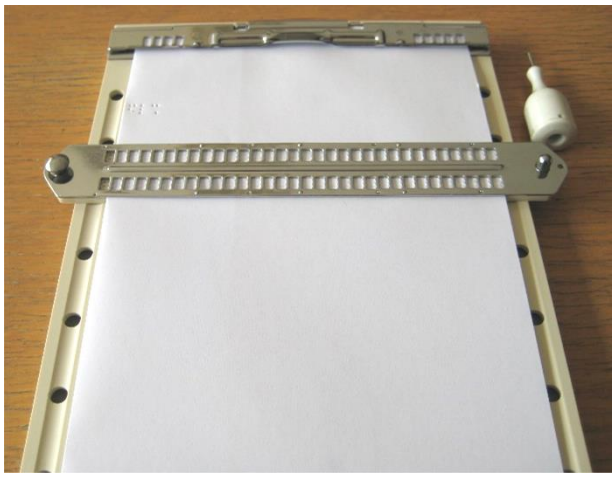
※講師を依頼する場合、講師謝金・交通費等は学校でご負担ください。

登米市社会福祉協議会
～福祉学習プログラム・貸出物品一覧～

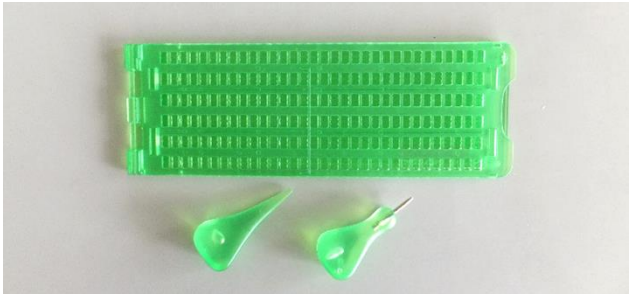
※借用については貸出数に限りがございますので事前に借用申請書をご提出下さい

車イス	白　杖
	
アイマスク	**点字ブロック（1セット）**
視覚障害体験グッズ（1 セット）	**視覚障害メガネセット（1 セット）**

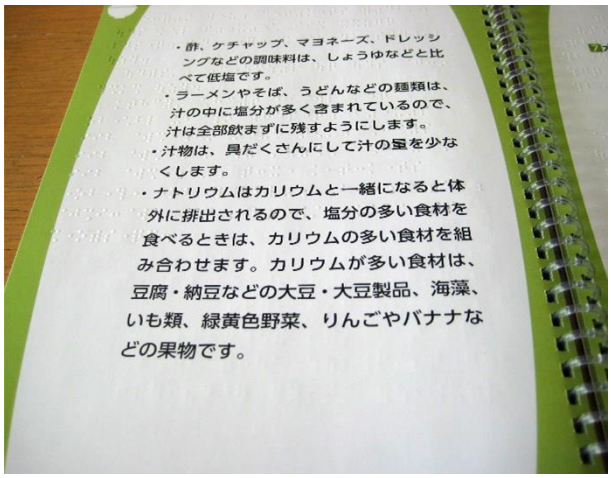
点字板・定規・てんぴつ



携帯用点字器



点字本



・酢、ケチャップ、マヨネーズ、ドレッシングなどの調味料は、しょうゆなどと比べて低塩です。
・ラーメンやそば、うどんなどの麺類は、汁の中に塩分が多く含まれているので、汁は全部飲まずに残すようにします。
・汁物は、具だくさんにして汁の量を少なくします。
・ナトリウムはカリウムと一緒になると体外に排出されるので、塩分の多い食材を食べるときは、カリウムの多い食材を組み合わせます。カリウムが多い食材は、豆腐・納豆などの大豆・大豆製品、海藻、いも類、緑黄色野菜、りんごやバナナなどの果物です。

疑似体験中ベスト

ユニボッチャ

ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ６球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。子どもから高齢の方までが一緒に楽しめるみんなのスポーツです。
（ボッチャは、パラリンピックの正式種目です）

ゴールボール

ゴールボールは、目隠しをしながら鈴の入ったボールを転がし、ゴールに入れることで得点とする視覚障害者の球技で、障害者スポーツの一つです。１チーム３名で、相手ゴールを狙って鈴の入ったボールを交互に転がして得点を競います。
（パラリンピックの正式種目です）

卓球バレー

卓球台を使い、ネットを挟んで１チーム６人ずつがいすに座ってピン球を転がし、相手コートへ３打以内で返すというゲームです。ルールは６人制バレーボールのルールを元に考案されています。

豆つかみゲーム

避難所運営ゲーム【ＨＵＧ】（12 セット）

防災クロスロードゲーム（20 セット）

シニア体験グッズ②（大人用１６セット・子ども用１５セット）

≪(株)三和製作所パンフレットより引用≫

福祉学習プログラム　職員派遣依頼書

<table>
<tr><td rowspan="2">学 校 名</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="3">ふりがな
学校担当者：</td></tr>
<tr><td>住　　所</td><td colspan="3">〒</td></tr>
<tr><td>電　　話</td><td></td><td>FAX</td><td></td></tr>
<tr><td>E-mail</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>対 象 者</td><td>□ 学年
【　　年生】
□ その他
【　　】</td><td colspan="2">≪クラス別 人数・体験時間内訳≫
（　組　名）　：　～　：
（　組　名）　：　～　：
（　組　名）　：　～　：</td></tr>
<tr><td>ね ら い</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>実施内容</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和　　年　　月　　日　　：　　～　　：</td></tr>
<tr><td>実施場所</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>備　　考</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

上記について実施するにあたり、貴会担当職員を派遣願います。

年　　月　　日

社会福祉法人登米市社会福祉協議会長　様

学校名　　校長名　　㊞

様式第１号（第４条関係）

社会福祉法人登米市社会福祉協議会備品借用申請書

令和　　年　　月　　日

社会福祉法人　登米市社会福祉協議会長　　様

申請者

住所：

氏名：

（電話番号：　　）

下記のとおり使用したいので、貸与くださいますようお願いいたします。

記

区　　分	内容
使用希望備品	
使用日時	令和　　年　　月　　日（　　）～　令和　　年　　月　　日（　　） 午前・午後　　：　　～　午前・午後　　：
使用目的	
特記事項	

【注】車両の貸出しの場合は運転者の免許書のコピーを添付してください。

＊以下は記入しないでください

上記、申請のありました備品について貸出しを許可いたします。

令和　　年　　月　　日

社会福祉法人　登米市社会福祉協議会

会　　長　　千　葉　　博　行　　㊞

＊備品返却・使用後確認
令和　　年　　月　　日返却 確認職員印
備　考